

# REPORT

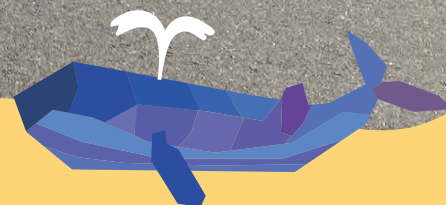
# 大 地 町

# 自 動 運 転

Vol.4



Taiji-cho Mobility Transformation



- P.1 さらに安全で安心な「自動運転のあるまち」を目指して
- P.2 自動運転カートの接近を知らせる情報板で実証実験をしました
- P.3 情報板でこんな風にお知らせ
- P.4 情報板について聞いてみました！
- P.5 累計利用者3万人達成！安定して利用されるようになりました
- P.6 自動運転は、地域に馴染んだ欠かせないサービスとなっています



2025年6月 近畿地方整備局



さらに安全で安心な  
「自動運転のあるまち」を目指して



太地町の自動運転サービスは、令和6年11月で運行開始から2年が経ち、多くの方に利用される中、課題も見えてきました。

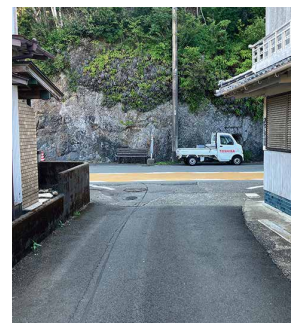
自動運転の運行ルート上には、コミュニティバスが通行できないほど道幅が狭く、見通しが悪い箇所が存在しています。特に、太地小学校付近では、町内でも小学生や高齢者の通行が多く、自動運転車両の接近に気づきにくい状況にあります。

この状況を改善すべく、自動運転カーットの接近状況を提供する実証実験を実施しました。

見通しが悪く、通行者が多い箇所にて実証実験



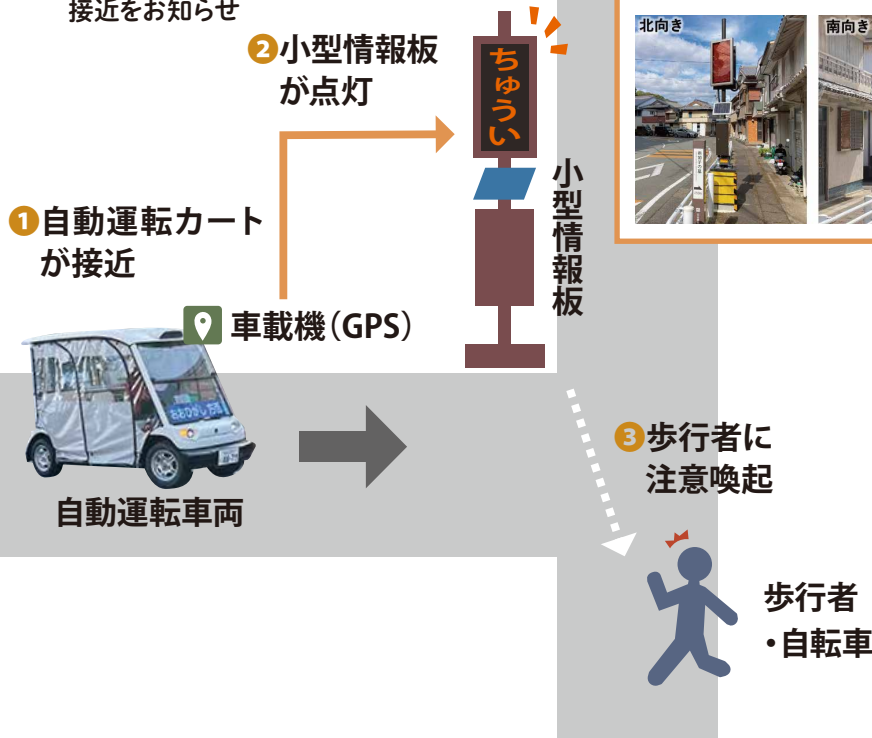
道が狭い



見通しが悪い



期間:令和7年2月14日(金)~3月13日(木)  
 場所:県道239号 東新集会所付近  
 内容:小型情報板が点滅し、自動運転カーットの接近をお知らせ



自動運転カーットの接近を知らせる  
 情報板で実証実験をしました

1

位置情報が取得できる車載器を搭載した自動運転カーットが実験場所に接近する。



2

自動運転カーットの位置情報を基に小型情報板を点灯する。

3

小型情報板が点灯し、歩行者・自転車に自動運転カーットの接近をお知らせする。



4

自動運転カーットが実験場所を通過すると、その位置情報を受けて、消灯する。

実証実験は、最新のITS※を活用し、子供・高齢者向けに自動運転カーットの接近情報を提供するもので、令和7年2月14日(金)から1カ月間実施しました。

実証実験にあたり、町全体や周辺小学校に広報チラシを配布し、幅広く実証実験を周知しました。



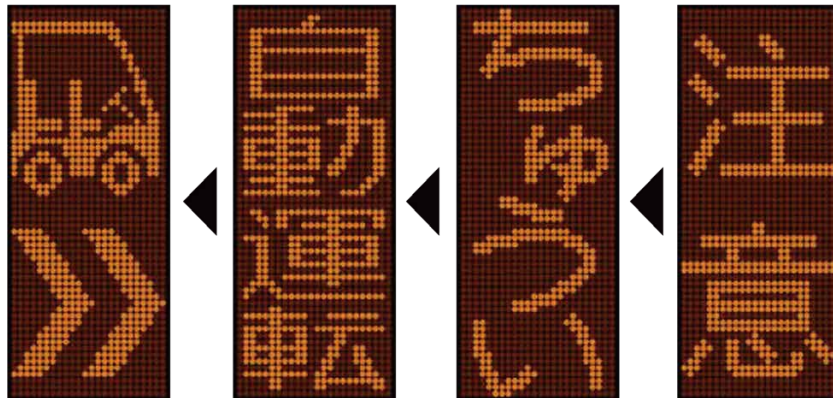
※Intelligent Transport Systemsの略で、情報通信技術を用いた交通システムです。



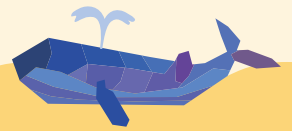
情報板でこんな風にお知らせ



児童や高齢者へのわかりやす  
いさに配慮し、ひらがなや  
ピクトグラムも使って表示  
しました。



表示内容



## 情報板について、聞いてみました！

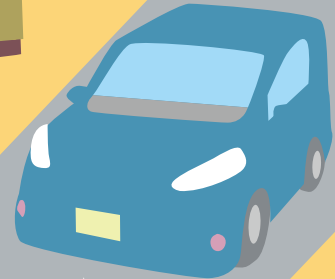
歩行者や運転者が表示板を見ってくれるので、今までより**安心して運転**できた。  
気持ちが楽になった。今後も設置してほしい。



設置前よりも安心して運転できた。  
設置前よりも県道を走行する**一般車が減速**していたように感じる。



カートが接近するときに表示されるので**目が行きやすい**。



町道からのカートや車両の飛び出しが危ないので、子供には付近を歩かないように言っている。

**情報板があれば安全になる**と思う。



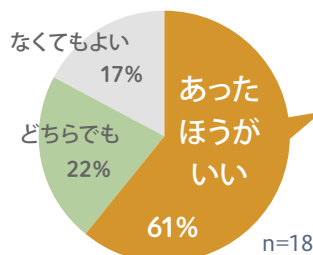
常時点灯ではなく、**カートが来たときだけ点灯**するので、**より注意しよう**という気持ちになる。



運転中に光る**情報板を見て、気を付けよう**と思いき、減速した。車で通るとき、今までより安心できる。  
**子供たちを守れる**のもいい。

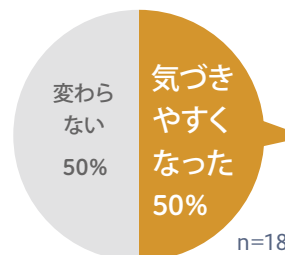
小学校の先生に聞きました

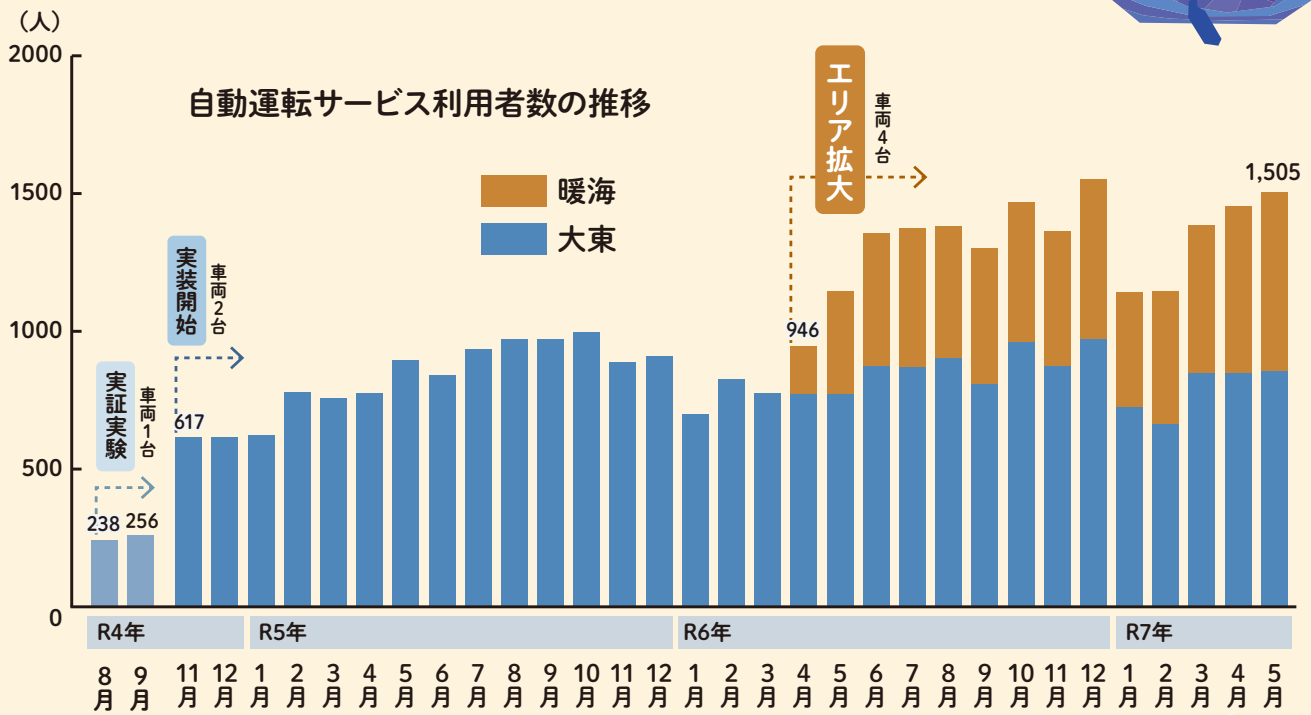
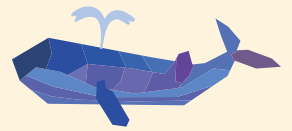
情報板は今後もあったらいいと思いますか？



小学校の児童に聞きました

カートが近づいていることに気づきやすくなりましたか？



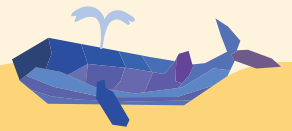


太地町の自動運転サービスは、令和7年5月で暖海地区に運行エリアを拡大してから1年が経ちました。利用者数は徐々に増え続け、今では毎月1000人が利用するサービスとなりました。令和7年4月には累計3万人も達成しました。今回は地域住民が自動運転サービスをどのように利用されているか、利用状況を調べてみました。

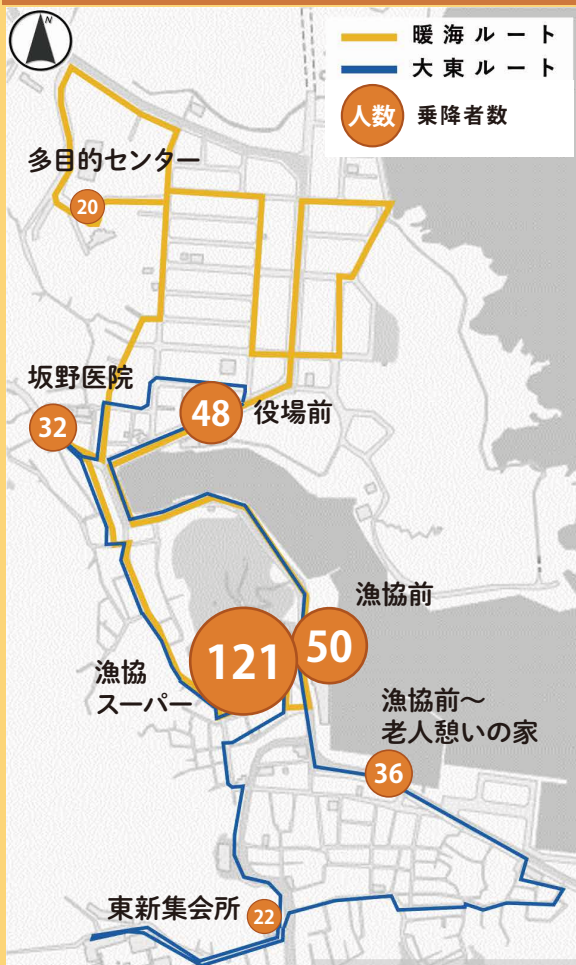
運行エリア拡大から1年の令和7年4月に累計利用者3万人達成しました！

累計利用者3万人達成！  
安定して利用されるようになりました





### 利用者の乗降場所



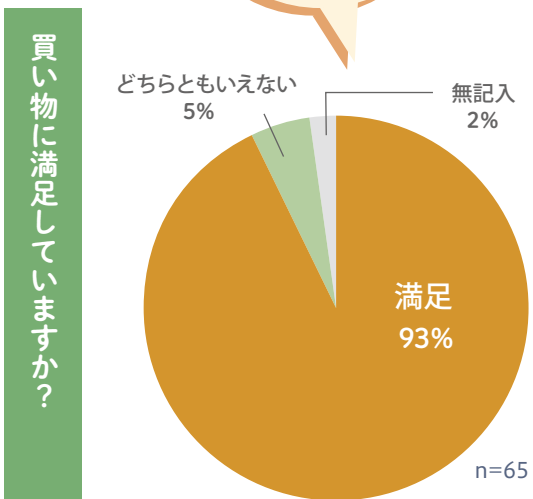
集計期間: 令和6年6月19日(水)～25日(火)

調査では、利用者の乗降場所や高齢者の外出機会・買い物満足度を確認しました。利用者の乗降場所は、町内唯一の買い物施設である漁協スーパー周辺が最も多く、次いで役場前でした。それ以外にも病院や健康施設である多目的センターも多く利用されていました。

また、高齢者の外出頻度は週1回以上が90%以上と多くなっていて、買い物への満足度も90%以上と高くなっています。令和4年11月から運行を開始した自動運転サービスは、今では地域住民にとって欠かせないサービスとなっているようです。

自動運転は、地域に馴染んだ  
欠かせないサービスとなつていま

90%以上の  
高齢者が  
買い物に満足



90%以上の  
高齢者が  
週一回以上外出  
できている

